

387 中央大学実業講話会

〔『法学新報』第25巻3(284)号 大正4年3月3日〕

○中央大学実業講話会 去二月七日午後二時より中央大学倶楽部に於て第十二回実業講話会を開催し先づ奥田会長の開会の辞に次て海軍少佐古賀琢一氏の南洋占領地事情、同大学講師石川久吾^(文)氏の官営小口保険論及び奥田博士の実業家に対する希望と題する講演あり夫れより会員、来賓及び学生一同食堂に入りて晚餐を了へ久米、中山両氏の寄附に係る栗崎吟水の薩摩琵琶^(琶)及び細川風谷の講談等の相次ける余興場裡に各自快談を雑へて午後九時散会す、当日の来会者は奥田会長を初め来賓並に会員の二十六名及び学生の五十二名なりき(委員報)